

2009 年度 第 2 回 事務局会議事録

日 時：2009 年 9 月 25 日(金) 10:00 ~ 12:30

場 所：東京大学本郷キャンパス 工学部 14 号館 8 階 802 号室

出席者：柴崎，今井，大沢，太田，小口，小荒井，貞広，玉川，正木，矢野(Skype)，吉川 (Skype)(敬称略，Skype はネットワーク経由での参加)

議 題

1. 次期代議員選挙について

次期代議員選挙の日程，及び応募方法等について，資料に基づき報告された。意見交換の後，選挙の際の投票方式について，候補者の内 50 名以内を選びその候補者に 印を付ける方式を採用することとした。ただし，代議員選挙管理規程は×印を付ける方式であるため，必要な改定案作成を今井総務担当理事に依頼した。なお，今後の検討課題として，代議員に対して産官学それぞれに選出枠を設けてはどうかという意見が出され，次々回選挙に向けて検討することとした。

他にこの議題に関する今後の行動について，以下を決定した。

- (1) 選挙管理委員長に井上亮氏(東京大学)を予定しており，会長から連絡をさしあげて，内諾をえること。
- (2) 理事選挙を郵送で行なう場合に，理事選出規程改定が必要か検討し，必要な場合には次回理事会において規定の承認をえること。これを今井総務担当理事に依頼した。

2. 2010 年度科研費申請について

2010 年度の京都大会における日韓シンポジウム開催のための科研費申請について協議された。意見交換の後，浅見企画・分科会担当理事，小口涉外委員長，矢野大会本部長(2010 年度)の 3 名に申請書作成を依頼することとした。

報告事項

1. 学会賞委員会の活動報告

資料に基づき，学会賞委員会からの 2009 年度学会賞の候補者選定結果が報告された。なお，今回は 5 部門の内学術論文部門とソフトウェア部門への推薦が無かったことに対して，学会賞委員会に多数が推薦される方式の検討，特に学術論文部門については，応募者または推薦者の作業軽減に関する検討を依頼することとした。

2. 来年度以降の大会の進捗状況について

2010 年度大会(京都，矢野氏担当)の日程について協議された。その結果，10 月 16 - 17 日を第 1 候補として，国内関連学会及び韓国 GIS 学会との調整を行うこととした。上記日程が不可能な場合には，10 月 23 - 24 日，10 月 9 - 10 日，または 10 月 2 - 3 日開催が候補として挙げられた。

2011 年度の大会は、山崎氏（鹿屋体育大学）、平氏（鹿児島大学）、三谷氏（九州大学）らのご協力を得て、具体化の作業が行なわれていることが報告された。

3. 日韓シンポジウムについて

韓国 GIS 学会から、日韓シンポジウムの今後の運営に関して、配布資料の提案があったことが報告された、第 1 項、シンポジウムの名称に関して、及び第 2 項、Proceedings を Extended Abstract 形式に変更したいとする提案に関しては了承した。なお、第 3 項、毎回の開催において特定テーマを設定したいとする提案については 本年 11 月に訪韓した折に、韓国側と協議することとした。

4. 広報委員会報告

追加資料に基づき、正木広報委員長から平成 21 年度活動の中間報告が行なわれた。今後、『GIS-理論と応用』への論文投稿、大会への投稿（エントリーを含む）を Web 上で行なえるシステムについての検討を依頼することとした。また、事務局会開催など、事務局のアクティビティーを紹介するページを設けたほうが良いとの意見が出され、現在地方事務局のリンク下に本部事務局の情報がおかれていたりの状況の改善（地方事務局を本部事務局に改めるなど）意見が出された。

5. 日本地球惑星科学連合報告

追加資料に基づき、小荒井涉外・支部担当理事から地球惑星連合に新たなセッションを提案する件に関して、動向が報告された。当学会で提案するテーマに関して種々意見交換を行なった。

その他事項

1. 理事会開催について

10 月 14 日開催予定の次回理事会への議題提案が求められた。想定される議題は以下の通りである。

投稿規程改定 玉川広報・編集担当理事（広報委員長）
日本地球惑星科学連合大会について 小荒井涉外・支部担当理事
G-空間エキスポについて 柴崎会長
総合科学技術会議対応について 柴崎会長
代議員選挙管理規程・理事及び監事の選任に関する規程 今井総務担当理事
分科会規程改定 大沢事務局長、浅見企画・支部担当理事

これらの議題に関しては、10 月 5 日までに事務局に資料を提出することとした。なお、追加議題がある場合にも議題提案及び資料の締め切りを 10 月 5 日とした。

2. G 空間エキスポについて

来年度開催予定の G 空間エキスポに参加する場合、ブース代として（最低）26 万円が必要となることが報告された。これに対して、ブース代を含めて 50 万円程度の予算処置が必要との予測が述べられた。これに関しては、次年度予算策定に向けて検討することとした。

3. 訪韓の際の韓国 GIS 学会への返礼について

昨年の大会開催時に、韓国 GIS 学会からの記念品が贈られた返礼として、11 月訪韓時に当学会から記念品を持参することとした。事務局が品物を選び、小口涉外委員長に託すこととした。